



## 平成30年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年5月11日

上場会社名 株式会社ユーグレナ 上場取引所 東  
 コード番号 2931 URL http://www.euglena.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 出雲 充  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0 (氏名) 永田 暁彦 (TEL) 03(3454)4907  
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年9月期第2四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	7,179	8.3	△1,111	—	△897	—	△992	—
29年9月期第2四半期	6,628	26.7	277	△39.0	446	△17.8	301	△29.7

(注) 包括利益 30年9月期第2四半期 △996百万円 (—%) 29年9月期第2四半期 302百万円 (△25.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	△11.72	—
29年9月期第2四半期	3.64	3.62

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第2四半期	21,224	15,299	71.4
29年9月期	18,858	15,655	82.9

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 15,159百万円 29年9月期 15,626百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年9月期	—	0.00	—	—	—
30年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	8.0	△1,800	—	△1,500	—	△1,650	—	△19.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期2Q	84,832,036株	29年9月期	84,389,616株
② 期末自己株式数	30年9月期2Q	137,901株	29年9月期	137,901株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期2Q	84,694,135株	29年9月期2Q	82,790,139株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主力事業であるヘルスケア業界は、高齢社会の進展とともに、中高年齢層を中心とした健康維持・増進、美容・アンチエイジング、エイジングケアへの高い意識を背景に、特に通信販売を中心に市場規模を拡大しております。一方、エネルギー・環境業界においても、地球温暖化防止に向けた世界的な取り組みが広がる中、バイオ燃料を始めとする再生可能エネルギーに対する需要が高まっております。このような事業環境のもと、当社グループでは、ヘルスケア製品の販売を積極的に推進するとともに、ユーグレナの食品としての新機能性解明、ユーグレナ等を利用したバイオ燃料の開発、ユーグレナの生産コストの低減に関連する研究開発等を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、売上の基盤となる直販の定期購入顧客を獲得するための広告宣伝投資を積極的に実施してまいりました。その結果、直販化粧品等の定期購入者数は10万人を超え、全体の定期購入者数も27万人を超える結果となりました。一方、集中投資を実施した直販化粧品に関して、定期購入顧客のリピート期間、回数が想定を下回り、売上高は7,179,183千円（前年同期比8.3%増）となりました。また、積極的な広告宣伝投資により、営業損失は1,111,206千円（前年同四半期は営業利益277,135千円）、経常損失は897,160千円（前年同四半期は経常利益446,261千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は992,769千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益301,406千円）となりました。

なお、前第2四半期連結会計期間から当第2四半期連結会計期間までの各四半期の業績推移は、以下のとおりです。

	前第2四半期 連結会計期間	前第3四半期 連結会計期間	前第4四半期 連結会計期間	当第1四半期 連結会計期間	当第2四半期 連結会計期間
売上高（千円）	3,355,294	3,603,410	3,654,891	3,449,697	3,729,485
営業損益（千円）	△1,159	143,491	530,310	△430,132	△681,073
経常損益（千円）	143,922	168,949	592,024	△364,320	△532,839

セグメント別の状況については、以下のとおりです。

（ヘルスケア事業）

ヘルスケア事業の直販カテゴリーにおいては、自社のスキンケア化粧品ブランド「one」を中心に積極的な広告宣伝活動を実施してまいりましたが、定期購入顧客のリピート期間、回数が想定を下回る結果となりました。

ヘルスケア事業のM&Aに関しては、遺伝子検査サービスのノウハウ及びシステム等のバイオインフォマティクス技術を有する株式会社ジーンクエストを完全子会社化し、同社が手がける生命化学データプラットフォームと連携してパーソナルヘルスケアのソリューション提供を行う新サービス「ユーグレナマイヘルス」をスタートしております。また、女性を中心とした顧客基盤とブランド力を有する株式会社フックを連結子会社としました。

ヘルスケア事業の研究開発に関しては、ユーグレナの食品としての機能の解明を進めており、ユーグレナの特有の成分であるパラミロンを継続摂取することにより、免疫細胞の分化を抑制する作用が発生し関節リウマチ症状の緩和効果を示唆する研究成果や、ユーグレナ粉末の熱水抽出物をヒト脂肪組織由来幹細胞に添加することで脂肪滴の蓄積を抑制する効果を確認する研究結果を公表いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、連結売上高7,171,683千円（前年同期比8.3%増）、セグメント損失は450,665千円（前年同四半期はセグメント利益721,514千円）となりました。

（エネルギー・環境事業）

エネルギー・環境事業においては、バイオジェット・ディーゼル燃料開発を中心に研究開発活動を継続しております。

当第2四半期連結累計期間においては、2018年10月に完成を予定しているバイオジェット・ディーゼル燃料実証製造プラントの運転開始に向けて体制の整備を進めております。また、経済産業省資源エネルギー庁の「微細藻類燃料生産実証事業費補助金」を活用し、多気クリスタルタウン（三重県多気郡多気町）において燃料用微細藻類培養プールを建設し、さらに先進的な大規模あぜ型微細藻類培養プールを稼働するなど、燃料用微細藻類の大規模、低コスト生産技術の確立を目指す研究開発活動を実施しております。

また、新たに、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構が実施する「ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業」に採択され、地球炭素循環型バイオジェット燃料生産技術の共同研究開発を実施しております。

以上の結果、主にバイオジェット燃料開発を目的とした研究開発活動により、連結売上高7,500千円（前年同四半期は5,000千円）、セグメント損失は234,212千円（前年同四半期はセグメント損失133,290千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は21,224,778千円となり、前連結会計年度末と比較して2,366,717千円の増加となりました。これは主に、新規連結子会社2社の資産の受入及びのれん1,355,623千円の計上によるものであります。

負債は、借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末から2,722,830千円増加し、5,925,622千円となりました。

純資産は、前連結会計年度末から356,112千円減少し、15,299,155千円となりました。この結果、自己資本比率は71.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から2,080,508千円減少し、5,072,356千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失895,244千円の計上、たな卸資産の増加383,073千円、法人税等の支払238,600千円等により、1,078,896千円の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の償還による収入200,000千円等の収入があったものの、有形固定資産の取得による支出2,087,518千円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出695,127千円等により、2,746,130千円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入1,940,000千円等により、1,664,820千円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

上半期は、ヘルスケア事業において、売上の基盤となる直販の定期購入顧客を獲得するための広告宣伝投資を積極的に実施してまいりました。その結果、直販化粧品は定期購入者数は10万人を超え、全体の定期購入者数も27万人を超える結果となりました。一方、集中投資を実施した直販化粧品に関して、定期購入顧客のリピート期間、回数が想定を下回り、増加した定期購入者数に比して想定の上乗成長が達成されない見込みとなったことから、通期の売上高予想を15,000百万円に修正いたします。

また、前回発表予想で未定としておりました営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、上半期における定期顧客獲得効率と定期顧客の購入額の結果から、下半期の広告宣伝投資の方針が固まったため、通期の業績予想を開示いたします。下半期は、上半期に比して広告宣伝投資を積極的には実施しない方針とすることで、ヘルスケア事業の収益は大幅に改善される見込みです。一方、バイオジェット燃料の研究開発および事業開発の進展に伴うコスト増や、新たにスタートしたバイオインフォマティクス事業への投資、新規に実施したM&A費用等の影響により、全体としては下半期も赤字基調となる見込みです。これらの結果、通期の各利益は、営業利益△1,800百万円、経常利益△1,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益△1,650百万円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,152,864	5,072,356
受取手形及び売掛金	1,260,296	1,375,227
有価証券	200,200	—
商品及び製品	1,107,421	1,355,394
仕掛品	30,603	96,464
原材料及び貯蔵品	423,519	564,545
繰延税金資産	118,169	82,011
その他	354,143	740,627
貸倒引当金	△6,513	△21,924
流動資産合計	10,640,705	9,264,703
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,690,964	1,992,444
機械装置及び運搬具	1,012,749	1,069,015
工具、器具及び備品	285,334	327,457
土地	900,520	900,520
リース資産	32,455	32,455
建設仮勘定	3,670,740	5,482,419
減価償却累計額	△1,567,372	△1,653,142
有形固定資産合計	6,025,392	8,151,170
無形固定資産		
のれん	1,162,283	2,410,225
その他	464,261	673,619
無形固定資産合計	1,626,545	3,083,844
投資その他の資産		
投資有価証券	180,075	330,372
差入保証金	307,203	312,808
繰延税金資産	21,265	19,852
その他	56,872	62,027
投資その他の資産合計	565,417	725,060
固定資産合計	8,217,355	11,960,075
資産合計	18,858,060	21,224,778

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	288,631	391,527
短期借入金	164,593	384,851
未払金	734,782	1,362,323
リース債務	1,805	1,056
未払法人税等	289,918	107,145
賞与引当金	31,520	43,546
ポイント引当金	—	49,860
資産除去債務	19,685	—
その他	173,531	307,445
流動負債合計	1,704,468	2,647,754
固定負債		
長期借入金	1,123,297	2,811,540
リース債務	2,019	1,491
退職給付に係る負債	9,012	8,579
資産除去債務	33,932	77,413
繰延税金負債	330,061	371,739
その他	—	7,103
固定負債合計	1,498,323	3,277,867
負債合計	3,202,792	5,925,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,424,242	5,424,242
資本剰余金	7,568,557	8,092,383
利益剰余金	2,876,847	1,884,077
自己株式	△231,396	△231,396
株主資本合計	15,638,251	15,169,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108	△295
為替換算調整勘定	△12,226	△9,745
その他の包括利益累計額合計	△12,117	△10,040
新株予約権	17,232	16,183
非支配株主持分	11,902	123,705
純資産合計	15,655,268	15,299,155
負債純資産合計	18,858,060	21,224,778

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成28年10月1日 至平成29年3月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成29年10月1日 至平成30年3月31日）
売上高	6,628,301	7,179,183
売上原価	1,692,311	1,786,890
売上総利益	4,935,989	5,392,293
販売費及び一般管理費	4,658,854	6,503,499
営業利益又は営業損失（△）	277,135	△1,111,206
営業外収益		
受取利息	11,769	1,505
助成金収入	120,187	166,535
受取手数料	15,045	14,410
持分法による投資利益	10,824	22,353
その他	13,669	12,049
営業外収益合計	171,496	216,854
営業外費用		
支払利息	1,501	2,398
株式交付費	299	104
その他	569	306
営業外費用合計	2,370	2,809
経常利益又は経常損失（△）	446,261	△897,160
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,048
固定資産売却益	—	868
特別利益合計	—	1,916
特別損失		
固定資産売却損	1,699	—
特別損失合計	1,699	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	444,562	△895,244
法人税、住民税及び事業税	196,388	41,874
法人税等調整額	△51,496	63,892
法人税等合計	144,891	105,766
四半期純利益又は四半期純損失（△）	299,670	△1,001,010
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△1,736	△8,241
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	301,406	△992,769



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	299,670	△1,001,010
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	530	△404
為替換算調整勘定	2,733	4,939
その他の包括利益合計	3,263	4,535
四半期包括利益	302,934	△996,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	304,093	△990,692
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,159	△5,782

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	444,562	△895,244
減価償却費	154,558	200,052
のれん償却額	48,491	107,681
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,967	14,428
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,482	8,525
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,461	△433
受取利息	△11,770	△1,562
助成金収入	△120,187	△166,535
新株予約権戻入益	—	△1,048
支払利息	1,501	2,398
株式交付費	299	104
持分法による投資損益(△は益)	△10,824	△22,353
売上債権の増減額(△は増加)	△69,519	△41,296
たな卸資産の増減額(△は増加)	△422,584	△383,073
仕入債務の増減額(△は減少)	136,913	85,958
未払金の増減額(△は減少)	△252,397	322,131
その他	△113,727	△165,471
小計	△204,698	△935,739
利息の受取額	15,470	8,323
助成金の受取額	5,796	88,043
利息の支払額	△1,501	△923
法人税等の支払額	△198,208	△238,600
営業活動によるキャッシュ・フロー	△383,141	△1,078,896
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,000	—
定期預金の払戻による収入	16,298	—
有形固定資産の取得による支出	△2,417,927	△2,087,518
有形固定資産の売却による収入	48,048	868
無形固定資産の取得による支出	△14,573	△20,376
投資有価証券の取得による支出	—	△126,827
有価証券の売却及び償還による収入	2,200,000	200,000
差入保証金の差入による支出	△84,338	△2,350
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△424,613	△695,127
その他	—	△14,797
投資活動によるキャッシュ・フロー	△687,106	△2,746,130
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	△150,000
長期借入れによる収入	1,329,000	1,940,000
長期借入金の返済による支出	△47,832	△123,798
リース債務の返済による支出	△2,194	△1,277
株式の発行による収入	18,421	—
新株予約権の発行による収入	1,872	—
その他	—	△104
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,299,266	1,664,820
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,084	△9,509
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	240,103	△2,169,716
現金及び現金同等物の期首残高	6,784,041	7,152,864
株式交換に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	89,207
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,024,144	5,072,356

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年10月1日至平成29年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,623,301	5,000	6,628,301	—	6,628,301
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,623,301	5,000	6,628,301	—	6,628,301
セグメント利益又は損失(△)	721,514	△133,290	588,223	△311,088	277,135

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△311,088千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ヘルスケア事業」セグメントにおいて、株式会社クロレラサプライを平成28年12月1日付で子会社化したしました。当該事象によるのれんの増加額は、255,760千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年10月1日至平成30年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	7,171,683	7,500	7,179,183	—	7,179,183
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,171,683	7,500	7,179,183	—	7,179,183
セグメント損失(△)	△450,665	△234,212	△684,878	△426,327	△1,111,206

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△426,327千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ヘルスケア事業」セグメントにおいて、株式会社ジーンクエストを平成29年10月1日付で子会社化したことにより、のれんが648,904千円増加しております。また、株式会社フックを平成30年2月26日付で子会社化したことにより、のれんが706,719千円増加しております。